



ながやと

渋谷区立長谷戸小学校
令和3年1月号
校長 佐藤 公信

新年 明けまして おめでとうございます



校長 佐藤 公信

新年、明けまして、おめでとうございます。

今年一年が、皆様にとりまして、素晴らしい年になりますことを心より願っております。

今年も長谷戸小学校は、地域の中の学校として、地域の皆様と共に歩み、飛躍、発展してまいります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

新しい年、令和3年が始まりました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症により、不安が絶えず、見通しも立たず、教育活動も大幅に制限され、楽しみにしていた行事等も中止や縮小を余儀なくされました。本来ならば、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、本校は車いすラグビーの試合を観戦するはずでした。相手チームへの尊敬の念を抱きつつ、みんなが心一つにして応援する。相手の立場を考え、自分たちの団結も強くする絶好の機会でした。今年こそは、是非とも観戦ができるように、そしていろいろなことが、少しでも良い方向に進むように願っております。

さて、冬休み前の最後の日、12月25日のことです。

4校時が終了して、「さようなら」の挨拶の後、児童は学級ごとに担任の先生に連れられて玄関まで来ました。冬休みを前に、明るい和やかな雰囲気が漂う、いつもながらの微笑ましい光景です。一年の最後の日ですから、靴箱に上履きなどの忘れ物がないか、持ち物を落としていく児童はいないか、担任の先生が見守っていました。しかし、ちょっと一味違うことに、私は注意をひかれました。担任の先生に加えて、副校長先生、副担任・専科の先生方が全員で、子どもたちにそれぞれ声をかけながら、送り出していたのです。もちろん、このような光景は今までのどの学校でも経験したことはありませんでした。多くの先生方に見守られ、子どもたちは幸せだったと思います。

現在、子供を取り巻く環境には、問題が山積しております。教員一人の力では限界があります。他のクラスの子も、他の学年の子も分け隔てなく、同じ長谷戸小学校の児童として、教職員一体となって支えることが何よりも大切だと思います。

本年も、長谷戸小学校へのご支援を賜りますよう、どうぞ、よろしくお願いいたします。